

今後の対応策について

1. 各病院の機能分析及び関係機関による情報共有

- (1) 産科・婦人科救急患者の受入可能病院
- (2) 一次・二次・三次救急患者の受入可能病院
- (3) 麻酔科医の当直状況(夜間緊急手術可能病院)
- (4) 各病院の空き病床数

2. 二次・三次病院による診療分担

平日・土曜日の当番制病院による受入（院内での議論が必要）

3. 一次救急医療体制の検討

ニーズの把握，体制の検討等

4. 新こども病院の産科増床(周産期医療強化)による各病院の負担軽減

5. 救急医療の適正利用に向けた市民啓発